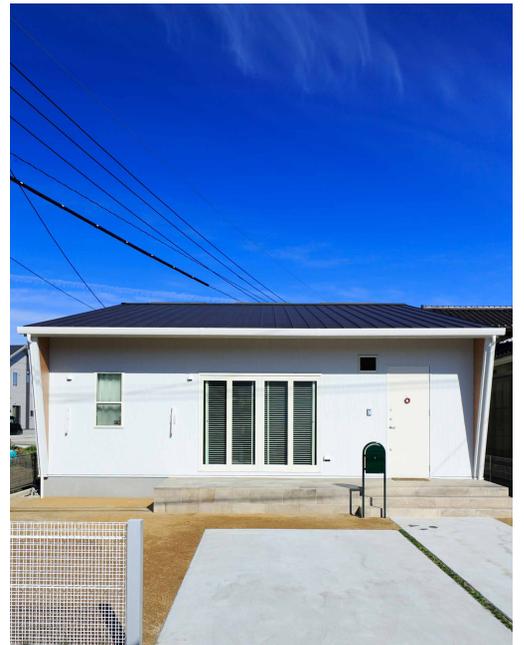




●白い漆喰壁と日田杉の床がナチュラルな空間をつくるキッチン&ダイニング。ゆとりの小屋裏空間もプラス。



●どこにいても家族を感じるダイニング。全開放の窓が庭との繋がりを生む。



●上/ゆるやかに傾斜する大屋根が家族を包む平屋づくりの家。
●左/土間タイルがアクセントになったコンパクトな玄関ホール。



●自然光を取り込み、丸窓がアクセントになった子ども室のロフト。



日田市 S邸

家族の成長にあわせて変化
自由度の高い住まいづくり

木目調のサイディングをアクセントに、軽やかな白い外観が印象的な平屋づくりのS邸は、ご夫婦と4歳と2歳になるお子さんの4人家族の住まい。玄関まわりを壁面収納でスッキリ収めたコンパクトな玄関土間を上ると、ゆるやかな勾配天井の開放感が広がるLDKへ。冷蔵庫やキャビネットも3枚扉の引き戸ですっきり隠したアイランドキッチンは奥様のお気に入りです。また日田市が支援する『木づかい促進事業』を活用して作られた大きなダイニングテーブルは、家族みんなが集まる場所に。さらに浴室ではなく、いつでも家族が使えるよう洗面台をリビングの一角に設けたのはご主人のアイデアから。天井の高さを活かして設けたキッチン上部の小屋裏空間は、多目的に使えるゆとりのスペースとしても活躍しそうです。そして将来は2部屋にも分けられるロフト付きの子ども室を配置。「いまは子ども室が家族の寝室に。子どもたちと過ごすひとときを楽しんでいます」と奥様。あえてクローゼットを設けなかったのも、限りある空間を広く使うための工夫でした。「家は建てる終わりでではなく、これから子どもたちが育っていく大切な場所。家族の成長にあわせているんな使い方ができる我が家が理想だったんです」とご夫婦。自由度の高い天領木の家づくりがご家族の暮らしを豊かに育んでいました。